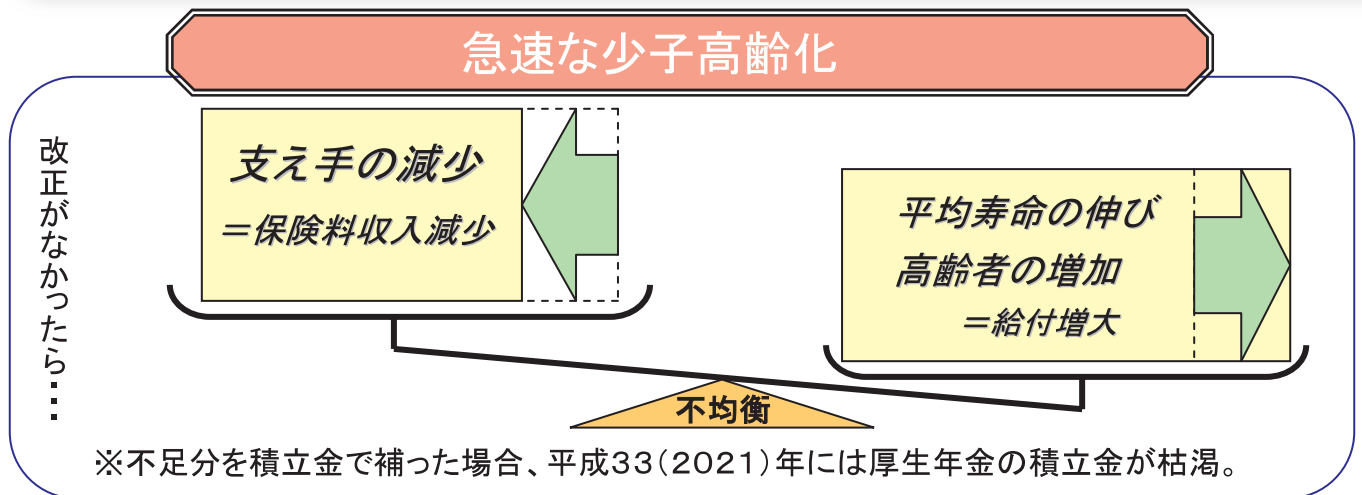


給付と負担の見直しの骨格

基本的な考え方

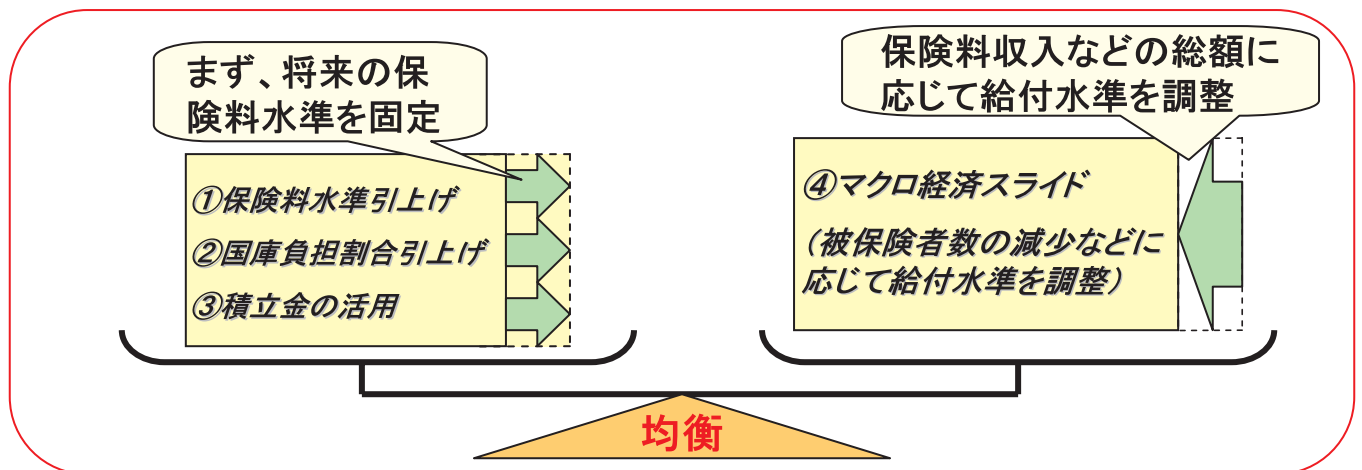
(改正前) まず給付水準を設定し、必要な負担(保険料)水準を設定

(今回改正) まず将来の負担の上限を設定し、その範囲内で給付水準を調整



年金制度改正

【財政均衡期間(概ね100年間)の給付と負担のバランス(イメージ)】



- ① 保険料の引上げを極力抑制し、将来の水準を固定します。
- ② 基礎年金の国庫負担割合を1/2へ引き上げます。
- ③ 次世代や次々世代の給付に充てるため、積立金を活用します。
- ④ 年金を支える力(被保険者数)の減少などに応じ、給付水準を自動的に調整する仕組みを導入します。
- ⑤ 老後生活の基本的部分を支える給付水準を確保します。